

研究所の沿革

1946 年 1 月	中央衛生試験所として沖縄中央病院内（旧コザ市胡屋）に併設
1952 年 4 月	琉球政府の設立に伴い、琉球衛生研究所と改称
1952 年 12 月	那覇市に移転
1966 年 7 月	ハブ研究施設竣工（浦添市）
1970 年 10 月	琉球衛生研究所を沖縄公害衛生研究所に改称
1972 年 5 月	本土復帰に伴い、沖縄県公害衛生研究所に改称
1980 年 8 月	新庁舎竣工、移転（現在の所在地・南城市）
1994 年 4 月	沖縄県公害衛生研究所を沖縄県衛生環境研究所に改称
2006 年 4 月	機構改革により企画管理班、衛生科学班、環境科学班の3班となる

研究所の業務

1. 企画管理班

(1) 総務

- ・庶務、経理、予算・決算、公有財産の管理等

(2) 企画情報

- ・JICA 研修員等、国内外からの研修員受け入れ窓口
- ・所報及びニュースレター等の発行
- ・感染症発生動向調査（感染症情報センターの運営）
- ・地域がん登録
- ・生活習慣病の疫学調査
- ・老人医療費の動向分析

2. 衛生科学班

(1) 感染症

- ・病原微生物及び寄生虫に起因する病原体の検査
- ・ウイルス、細菌及び寄生虫に起因する疾病の疫学的調査研究
- ・食品、飲料水中の病原微生物学的検査

- ・新興・再興感染症に関する調査研究
- ・食中毒の原因解明
- ・病原微生物及び寄生虫に関する研修の実施
- ・海洋危険生物による被害の疫学調査
- ・海洋危険生物の毒に関する調査研究
- ・海洋危険生物の防除と対策
- ・水生生物による水環境の評価

(2) 生物生態

- ・蛇毒及び抗毒素の研究
- ・ハブ咬症の疫学的調査
- ・ハブ駆除法の研究
- ・蛇類の飼育管理
- ・蛇類の生態学的研究

3. 環境科学班

(1) 食品薬品

- ・食品中の食品添加物、農薬、有害金属等の分析及び調査研究
- ・化学性食中毒及び苦情の原因解明
- ・食品中の自然毒に関する調査研究
- ・食品中の栄養、アレルゲン等に関する分析及び調査研究
- ・麻薬及び向精神薬に関する調査研究
- ・飲料水の検査及び精度管理
- ・沖縄県産薬用植物に関する調査研究

(2) 大気環境

- ・大気汚染物質の常時監視測定
- ・有害大気汚染物質調査
- ・悪臭物質の測定
- ・騒音・振動の測定
- ・環境放射能調査
- ・原子力軍艦寄港に伴う放射能調査
- ・酸性雨の調査研究

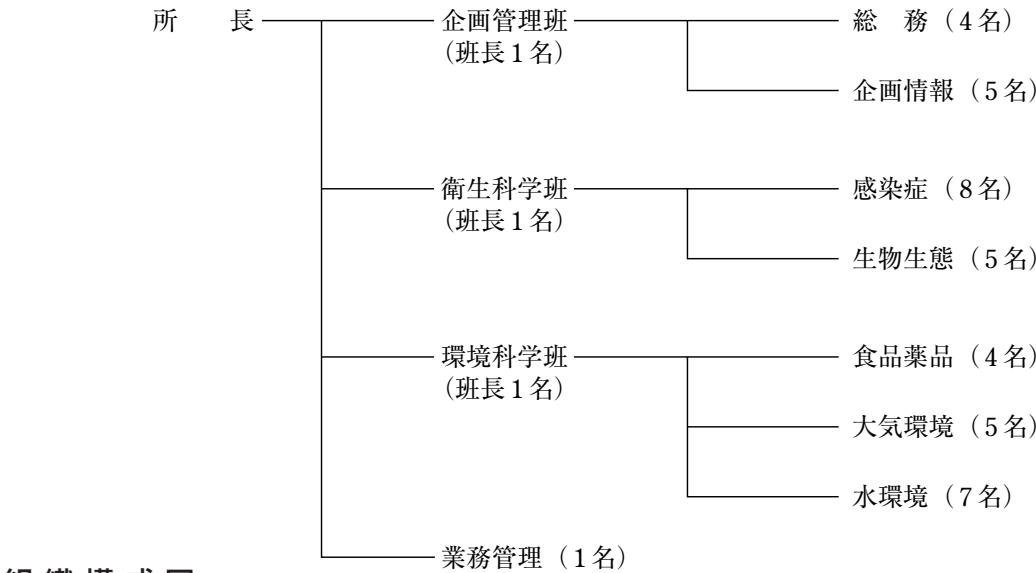
(3) 水環境

- ・公共用水域及び地下水の監視測定
- ・事業所排水の監視測定
- ・基地排水及び周辺海域の監視測定
- ・廃棄物処分場の排水等監視測定
- ・化学物質による環境汚染調査
- ・環境汚染突発事例に関する調査

- 赤土等の流出による水環境への影響調査
- 赤土等の流出影響モニタリングシステムの開発
- 赤土等流出源実態調査
- 赤土等流出防止対策の評価と検証

4. 業務管理

- 標準作業書の点検・保管
- 内部点検
- 精度管理
- 外部精度管理調査
- 研修計画
- 改善要請・確認



組織構成図
(職員数 43 名)

